

「まちの魅力とは、単なる顔かたちではなく、まちの総体、全体像であり、一言でいえば、まちの歴史であるということです。」

進士 五十八 (2005年10月30日北海道新聞インタビューより)



進士 五十八氏

「美しい風景、いい風景をいかにして創り育てるか。風景づくりに関わるのが、真に豊かな生活である。」

進士 五十八 (共編著『風景デザイン 感性とボランティアのまちづくり』学芸出版社より)

テーマ

東京で「ふるさと」を持つことは今ではもう贅沢^{ぜいたく}なのだろうか？

思い出の遊び場や友達と学んだ校舎を大事にすることが、地域を見直し、「ふるさと」を大事にすることにつながるのではないだろうか。大切な原風景^{げんふうけい}を見失わないためには何をすればよいのか。

プログラム

18:30 開会

18:40～ お話：進士^{しんじ} 五十八^{いそや}氏

19:45～ トークセッション／コーディネータ 森まゆみ氏

20:45～ まとめ

21:00 閉会

進士 五十八(しんじ いそや)氏プロフィール
東京農業大学教授／前学長、農学博士、専門：造園学・景観政策・環境計画。

京都生まれ。東京農業大学農学部卒業、1987年教授就任、1999年から6年間学長を務める。(社)日本造園学会長、(社)日本都市計画学会長、都市計画中央審議会、河川審議会、国土審議会特別委員、国土交通省社会資本整備審議会臨時委員、東京都景観審議会副会長などを歴任。現在、日本学術会議会員(環境学委員会委員長)、日本野外教育学会長、日本生活学

会理事、名古屋市緑のまちづくり審議会会長、川崎市環境審議会会長、三鷹市まちづくり委員会会長、新宿区景観審議会会長、NPO法人みどりのゆび理事長ほか。

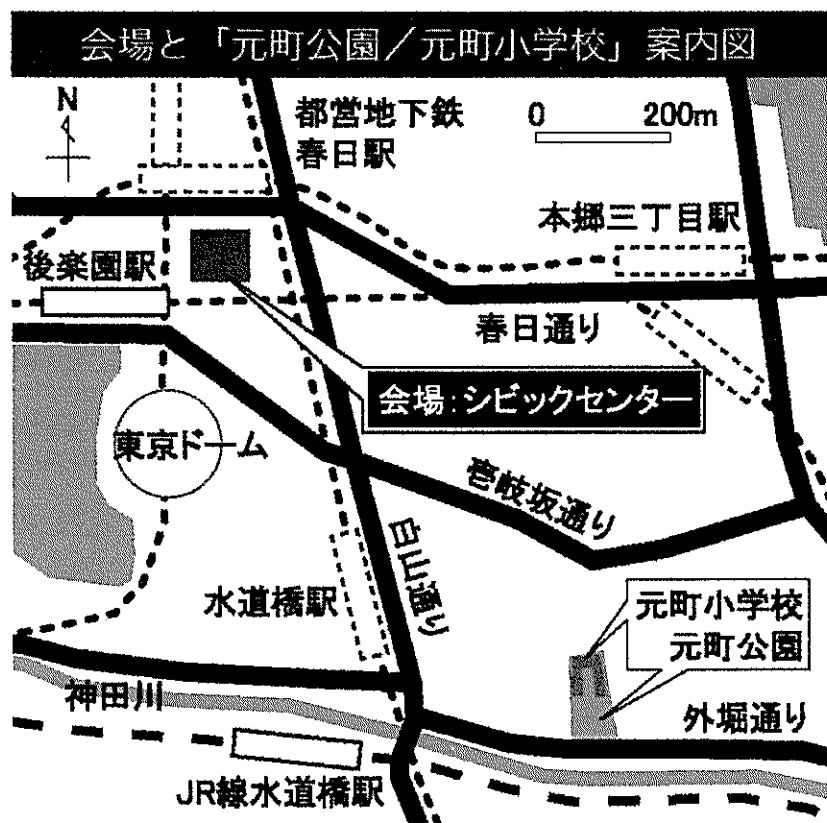
田村賞、日本造園学会賞、Golden Fortune賞、土木学会景観デザイン賞、日本農学賞、読売農学賞など受賞。

主著／『アメニティ・デザイン ほんとうの環境づくり』『緑のまちづくり学』学芸出版社『日本の庭園 造景の技とところ』(中公新書)ほか多数

森まゆみ(もり まゆみ)氏プロフィール

作家、地域雑誌「谷中・根津・千駄木」編集人。文京区動坂に生まれる。早稲田大学政経学部卒業。1984年に地域雑誌「谷根千」を発刊。小さなメディアからの発信は着実に地域への愛着を育み、地域を変えていった。これらの活動は高く評価され、サントリー地域文化賞他を受賞。趣味は「人の話を聞くこと」。

主著／『鷗外の坂』(芸術選奨文部大臣新人賞)『「即興詩人」のイタリア』(JTB紀行文学大賞)『一葉の四季』『円朝ざんまい』ほか多数



シンポジウム：地域が手をつなぐほんとうのまちづくりとは

受け継いで行くこと 失ってはいけないもの

「文京区元町公園と元町小学校をめぐる対話」

日時：2007年3月17日(土) 18時30分開会

お話：進士^{しんじ} 五十八^{いそや}氏(東京農業大学教授)

コーディネータ：森まゆみ氏(地域雑誌「谷根千」編集人、作家)

会場：文京シビックセンター地下1階レクリエーションホール

東京メトロ「後楽園」駅・都営地下鉄「春日」駅下車すぐ

参加費：(資料代として)300円 事前申込み不要(定員160名)

主催：「文京区元町公園と元町小学校をめぐる対話」実行委員会

協力：元町小学校校友会

問い合わせ先：080-5485-9217